

麻布大学ティーチング・ポートフォリオ

所属 臨床検査技術学科

職階 教授

氏名

岩橋和彦

麻布大学では、教育研究活動その他大学の諸活動を恒常に自己点検・評価し、その結果を検証して改善に結び付けることにより、教育の質保証を行う観点から、各教員が『ティーチング・ポートフォリオ』を作成しています。ティーチング・ポートフォリオの構成及び更新サイクルは以下のとおりです。

1. 教育の責任 ······ 3年
2. 教育の理念 ······ 3年
3. 教育の方法 ······ 3年
4. 教育の方法の改善・向上を図る取組 ······ 毎年
5. 学生の授業評価アンケート結果に基づく改善・向上の取組 ··· 每年
6. 学生の学修成果向上を図る取組 ······ 毎年
7. 指導力向上のための取組 ······ 3年
8. 今後の目標 ······ 3年

1. 教育の責任

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年2月

受験を希望する全員の国家試験合格を後押しする。

科目名	学科・専攻	単位種別	配当年次	受講者数(単位:人)
生理学I,II	臨床検査技術学科	必修	1年	約90
生理学実習	臨床検査技術学科	必修	2年	約90
臨床生理学I,II	臨床検査技術学科	必修	3年	約90
臨床生理学実習	臨床検査技術学科	必修	3年	約90
卒論指導	臨床検査技術学科	選択	2-4年	約20

2. 教育の理念

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年2月

学生に医療の最前線、時代のニーズに合った知識を教え、時代のニーズに合った人材を育成する。

3. 教育の方法

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年2月

医学は日進月歩、時代のニーズに取り残されたら本学科の存在意義はない。

(1) アクティブ・ラーニングについての取組

有

医療検査の学習用の動画を作成し、実施指導をとりいれる。

(2) ICTの教育活用

有

ICTを使って医療検査の学習用の動画を作成する。

4. 教育の方法の改善・向上を図る取組

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年2月

(1) 教育（授業及び実習等）の創意工夫

B

医療知識習得のため学習用にパワーポイントや動画を学習用に積極的に取り入れている。

(2) 学生の理解度の把握

B

小テストを行うことや質問を積極的に受け入れている。

(3) 学生の自学自習を促す工夫

B

講義前に学生に資料を掲示し予習と復習を呼び掛けている。

(4) 学生とのコミュニケーション

B

講義中の質問や、メールでの質問を積極的に取り入れている。

(5) 双方向授業への工夫

B

講義中も問い合わせや、随時質問を受け入れている。

(6) 国家試験対策の取組（獣医学科・臨床検査技術学科）

B

まず学習意欲をあげるため、臨床検査技師になった時のメリットを説明し、やる気を促す。また、基本的な知識を得るために国家試験の過去問をやらせ、まとめ方など学習の進め方を指導している。

5. 学生の授業評価アンケート結果に基づく改善・向上の取組

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年2月

（1）授業評価アンケート結果の授業への反映

おおむね講義が役に立ったとの評価であり、さらなる質の向上を心掛ける。

（2）（1）の結果による改善・向上の具体的な成果又は課題

国家試験の合格率がそれに反映していると考える。

（3）（2）を踏まえた次年度の取組

国家試験合格率90%以上を目指す。

6. 学生の学修成果向上を図る取組

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年2月

（1）現在までの学生の成績向上に資する取組及びその成果並びに今後予定している取組

国家試験合格率はおよそ90%を維持しており、さらなる向上として過去問の繰り返しの学習と知識のまとめ方の指導を進める。

（2）（1）の取組を通じて改善・向上が図られた学生の学修成果並びに当該取組

に対して得られた学生及び第三者からの評価又はフィードバック

事業評価では、国家試験勉強の「まとめ」になっているとの評価を得ているので続けたい。

7. 指導力向上のための取組（FD研修参加等）

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年2月

実習などの予定が入っていない限り参加している。

8. 今後の目標

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年2月

時代のニーズに乗り遅れないように心がけている。

9. ティーチング・ポートフォリオを作成する際に活用した根拠資料

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年2月

授業評価データ、授業に関するコメント（授業評価の自由記述やメールのやりとり等）、卒業生から授業や教育についてのコメントを参照してください。